

職務経歴書

2024年5月21日現在

氏名 O.H

■貢献できる業務と得意分野

- ① コンサルタンシー&アドバイザー/ 海外へのレポーティング/FP&A と戦略/資金管理/ファイナンス/財務会計/管理会計/キャッシュマネジメント/内部統制/税務/連結会計 (14年: IFRS / USGAAP / 日本会計)
- ② SAP 導入・保守/プロジェクトマネジメント/アジャイルなウォーターフォール開発の経験/業務改善・プロセス開発コンサルタント、チェンジマネジメント、データやドキュメントの収集・分析 (10年)
- ③ ポートフォリオマネジメント/ALM/ IPO 準備/M&A デューデリジェンス (9年)

■主な職務経歴と実績

- ① 複数の IT システムの導入に成功(FICO、製造業工場向け等 SAP 導入・iRely・Icron・Ariba・保守会計システム、コンカー、資産運用管理システム、HR システム)、アジャイルなウォーターフォール開発の経験、チェンジマネジメント、UAT シナリオ作成および UAT の実施、プロジェクトマネジメントタスク、データやドキュメントの収集と分析
- ② インドネシア・日本間における会計及び税務基準をコンバージョンするジャパンデスクのファイナンスマネージャーを務め、監査や現地法務もカバーするコンサルティング業務に従事
- ③ グローバル IT 企業における東アジア担当としての FP&A と戦略・資金管理・キャッシュマネジメント・財務会計・ペイロール・税務・内部統制・海外へのレポーティング業務のスピーディーかつマルチタスクをこなすハンズオンのマネジメント実績
- ④ マーケットコメントの作成/ 原価計算/ 税務/ 開示資料の作成/ 分析結果から経営層に改善案を提言
- ⑤ 最大 24 名のグローバルなプロジェクトマネジメント/業務改善のプロジェクトでは必要なステークホルダーを巻き込み年間 4500 万円のコスト削減及び新規プロセス開発の実現
- ⑥ グローバルな金融機関の財務企画部門にて資産規模 2 兆 5 千億円に基づくキャッシュフロープロジェクトを行い、ALM を勘案したポートフォリオマネージャーとして 1500 億円の利益に貢献
- ⑦ グローバルな金融機関にて J-SOX・US-SOX を導入し、SOX 監査に対応し、SOX テストのコントロールを行った
- ⑧ 金融機関にて IPO スタートアップ準備業務
- ⑨ グローバルな金融機関にて M&A のデューデリジェンス業務、会社の合併プロジェクトに参画
- ⑩ 外貨建ての新商品開発に伴う会計要件設定経験

■活かせる職務スキル・知識

- ① ERP システム及び経費精算システムコンカーの導入のノウハウ (SAP 導入・保守、iRely, Icron, Ariba)、UAT の実施、アジャイルなウォーターフォール開発の経験、プロジェクトマネジメントスキル、データやドキュメントの収集及び分析
- ② 現地スタッフをマネージする会計・税務のコンサルティング業務、監査と法務、日本会計/USGAAP/IFRS に基づいた財務諸表及び会計原則の理解と知識
- ③ FP&A と戦略、財務会計、連結会計、管理会計、原価計算、ファイナンス、資金管理、税務、内部統制、総務、庶務、ペイロール、各種監査対応、外国人従業員への各種対応、人事のハンズオンのマルチタスク業務スキル
- ④ ファイナンスの知見を活かした経営課題の分析スキル
- ⑤ 多国籍な環境下での読み書き聞く話す上での英語の使用スキル
- ⑥ 多国籍な環境下でのプロジェクト推進及びファシリテーションスキル
- ⑦ シックスシグマの知識を活かした業務改善及びプロセス開発・問題解決スキル
- ⑧ IPO 準備/M&A デューデリジェンスのスキルと知識
- ⑨ ALM を勘案した、有価証券とデリバティブの知識を活かしたポートフォリオマネジメント

■自己 PR

- ①ファイナンスの知見を活かし、IT とのシナジーを生み出すハンズオンの業務に就き、会社の利益と成長に貢献したい
- ②最新のテクノロジーへの関心、ロジカルシンキング、プロアクティブで、セルフスターターそして物事にフレキシブルでアジャイルに対応をする特徴を持ち合わせている
- ③好奇心旺盛、変化を好み、倫理感、高潔さ、アジャイル、デザイン思考、オープンマインドな性格を持ち合わせている

■最終学歴

1999年3月 早稲田大学 社会科学部 社会科学科 卒業 (卒業論文: APEC の展望)

■システム経験

JIRA, Bloomberg, Macro, SAP, Oracle, PAM, Concur, iScara, AC4 勘定奉行, 弥生

■資格

TOEIC830点、日商簿記2級、AFP、ライフコンサルタント、シックスシグマのグリーンベルト

■職務経歴（詳細）

2024年4月～現在 ●●株式会社（派遣先： ）

Consultant

- 規模：プロジェクトメンバー30名（関係者150名）
- 役割：既存のSAPの固定資産モジュールにIFRS機能を適用するSAP固定資産リーダーとして全体マネージャーとPMにレポート
- プロジェクトへの関わり：上流の要件定義から参画
- 経験モジュール：FI
 - ・クライアントである日系大手エネルギー会社向けに既存のSAP固定資産モジュールにIFRS機能を導入するプロジェクトに参画
 - ・設計/開発担当者と密に連携し、WBSに沿ってアドオン等機能を付加することに従事

2023年7月～2023年11月 ●●株式会社（派遣先： ）

Consultant

- 規模：プロジェクトメンバー50名（関係者200名）
- 役割：債権のアドオン機能のSAPコンサルタントで日本のPMおよびPMOにレポート
- プロジェクトへの関わり：ST終了フェーズからJoin
- 経験モジュール：FI、SD
 - ・クライアントである日系大手化学メーカー向けにSAP導入プロジェクトに参画、ウォーターフォール開発の中でプロジェクトマネジメントの役割をアジャイルに遂行、データやドキュメントの収集及び分析
 - ・設計書等を読み込み、グループ会社14社に関連する入金・債権周りのアドオン（モジュール：FIとSD）のUATシナリオの作成及びUATの実施

※退職理由：【会社都合】契約任期終了

2022年8月～2023年7月 ●●株式会社（派遣先： ）

SAP Implementation Manager/PMO/SU Controller

- 規模：オーストララシア地域メンバー100名（関係者600名）
- 役割：PIMBOKを活用し日本のSAP導入のリード、SU Controllerとしてグローバルな原価周りのアプローチ、オーストララシア地域のHQおよびイギリス本社にレポート
- プロジェクトへの関わり：End to End
- 経験モジュール：FI、CO、SD、MM、PP、QM
 - ・ステークホルダーをコントロールしつつ、日本本社及び工場向けのSAP（S/4 HANA）の導入に成功（モジュール：FI、CO、QM、PP、MM、SD、iRely、Icron、Ariba）、チェンジマネジメント、ウォーターフォール開発の中でプロジェクトマネジメントの役割をアジャイルに遂行、データやドキュメントの収集及び分析
 - ・AS-ISプロセスの確認、TO-BEプロセスの考案、プロジェクトのタスクとスケジュールを管理、データの妥当性チェック、各種トレーニングの実施、BCPMプランの策定、AustralasiaリージョナルHead及びイギリス本社の上司にレポート、プロジェクト管理ツール（JIRA、ALM）を使用
 - ・Weeklyでリージョナルミーティングに参加、協議、進捗の確認、RiskとIssueの共有を行う
 - ・コンサルティング会社3社と連携・協力しながら、各担当者及び現場との調整を行い、プロジェクトを推進中/チェンジマネジメントにも参画
 - ・製造業ソーシングユニットにおけるControllerとして会計周り業務をマネジメント

※退職理由：【会社都合】契約任期終了

2021年10月～2022年1月 ●●

Japan Desk シニアマネージャー

- ・20名の現地スタッフをマネージする日本窓口担当として会計・税務のコンサルティング業務に従事（所得税、法人税、VAT、移転価格、確定申告など）
- ・担当企業20社の月次財務諸表レビュー
- ・現地スタッフと協力した法務ソリューションの提供
- ・親子ローンなどの契約書のレビュー
- ・VISA手続きのサポート業務
- ・税務など刊行物への寄稿
- ・ウェビナー開催のサポート

※退職理由：【会社都合】会社のバジェット難のため。

2019年7月～2019年9月 ●●株式会社

COO オフィス予算管理グループ アシスタントマネージャー

オペレーションに関わる経理及び予算の策定及び分析業務に従事

※退職理由：【自己都合】冗長な業務が多く、役割上それら以外ほとんど何もすることもなく、今後のキャリアの不安を感じたためです。

2016年12月～2018年2月 ●●株式会社

東アジアファイナンス&アドミニストレーションマネージャー/韓国・台湾・日本の部下を管理

インド資本の IT 企業でマルチタスクをこなす管理部門の東アジア担当マネージャーに従事

-規模：プロジェクトメンバー30名（関係者 100名）

-役割：東アジア（韓国・台湾・日本）の SAP 導入のプロジェクトマネジメント、APAC オフィサーとインド本社にレポート

-プロジェクトへの関わり：End to End

-経験モジュール：FI、CO

1) SAP 導入プロジェクト

・SAP(S/4 HANA)及び費用とインボイスのシステムとしてコンカーの導入に成功

・ウォーターフォール開発の中でプロジェクトマネジメントの役割をアジャイルに遂行、データやドキュメントの収集及び分析

・会計処理マニュアルの改訂、整備、要件定義を行い、会計プロセスを改善し加速させた

2) 資金管理業務

・資金繰りと資金管理、インド・シンガポール・オーストラリア・アメリカへの外為送金

・キャッシュフロープロジェクト

3) アカウンティング業務

・IFRS に基づいた財務会計、FP&A と戦略、管理会計業務、税務、効果的な内部統制の堅持と効率的なワークフローの構築

・インド本社のファイナンスチームと連携およびコンタクトを取りながら、月次・四半期・年度末決算を行い、オーストラリア APAC コントローラーへレポート

・買掛金、売掛金の消込管理およびインド本社へのレポート

・BS,PL の分析業務および経営層へのレポート

・従業員の旅費・経費精算および証憑管理

・ベンダーとの契約・管理および請求書に対する支払い指示

・会計監査対応

・エグゼクティブや部門を超えた要求として困難な要求に対するアドホックな対応

4) 人事業務

・報酬制度の立案と策定

・従業員の残業時間の計算・管理、住所変更、通勤費、給与口座管理、ボーナスやインセンティブ管理

・給与、ボーナス、インセンティブ、退職金の支払い承認

・新規従業員の社会保険料等も含めた年俸の試算およびインドの本社人事マネージャー・シンガポール APAC 人事マネージャーへのレポート

・採用、配置/異動評価、人材育成/キャリア開発、人材制度の策定/運用、労務管理、社会保険/福利厚生、従業員への住居に関わる一連業務、従業員からの質疑応答、ガバナンス、BCP プラン、法令順守

※退職理由：【自己都合】最初は、ERP システム導入のプロジェクトやファイナンスサイドの業務をメインで任されておりました。しかし、ERP 導入後は、ファイナンスやアカウンティングだけでなく、東アジア、台湾・韓国・日本のアドミと管理部門全体業務、人事・労務・法務・総務・IT とファイナンス以外の比率が 70%超と多く占めるようになり、今後のキャリアの懸念を感じたためです。

2016年4月～2016年7月 ●●株式会社

企画管理部 マネージャー/ 部下3名をマネジメント

J-REIT の IPO に関わる業務に従事

・J-REIT の IPO 時のエクイティの発行とデットの調達シナリオを基とした、将来にわたるキャッシュフローシミュレーションの作成

・IPO に必要な書類の作成及び金融庁対応

※退職理由：【会社都合】入社時は IPO 後のファイナンス業務を担当する予定でした。しかし、金融庁から IPO の申請が否認され、ファイナンス担当が当面不要となったため、退職を余儀なくされました。

2014年12月～2015年11月 ●●株式会社

管理部 課長/ 部下4名をマネジメント

-規模：プロジェクトメンバー15名（関係者 50名）

-役割：ERP 導入のプロジェクトマネジメント、スイス本社にレポート

-プロジェクトへの関わり：End to End

1) システム (iScara) 導入プロジェクト

・iScara (会計・在庫管理) システムを導入し、経理業務の効率化・在庫管理を成功させた

・ウォーターフォール開発の中でプロジェクトマネジメントの役割をアジャイルに遂行、データやドキュメントの収集及び分析

・会計処理マニュアルの改訂、整備、要件定義を行い、会計プロセスを改善し加速させた

2) 資金管理業務

・毎月の資金繰りおよび入金管理、資金集中、スイス HQ へ残高およびキャッシュフローの報告

3) アカウンティング業務

・IFRS に基づいた月次、四半期、年次の決算業務、アジアリージョナルおよびスイス本社への 50 種類にもわたるレポート業務、税務、効果的な内部統制の堅持と効率的なワークフローの構築

4) 人事業務

- ・採用、配置/異動評価、人材育成/キャリア開発、人材制度の策定/運用、労務管理、社会保険/福利厚生、ガバナンス、BCP プラン、法令順守

※退職理由：【会社都合】日本法人の赤字が続いており、業績悪化のためまずはスイスの親会社から管理部門の切り離しが求められたためです。

2014年2月～2014年8月 ●●株式会社

アカウントिंगマネージャ/ 部下4名をマネジメント

1) 資金管理業務

- ・毎週、毎月の資金繰りおよび入出金管理、資金集中、アジア統括のフィリピンへ残高およびキャッシュフローのレポート

2) アカウントिंग業務

- ・IFRSに基づいた財務会計、FP&A、管理会計業務、税務、効果的な内部統制の堅持と効率的なワークフローの構築

3) 人事業務

- ・ペイロール、社会保険、C&B、採用、人材制度の策定/運用、労務管理

※退職理由：【自己都合】残業時間が余りに多すぎたためです。残業時間は月200時間を超えて尋常ではない環境でした。このままでは自分が潰れてしまうと言う危機感もあり退職致しました。

2013年7月～2013年12月 株式会社●●

アカウントING統括/リスクマネジメント Div. リスクマネジメント課/管理職者

- ・主に店舗に関わる20/月リース案件の情報収集、リース会社との折衝、見積り依頼、契約書の取り交しリースの収支に関わるプロジェクトを毎月行い、約500件のリース案件を管理した
- ・デッドエクイティによる10億円の資金調達を実施

※退職理由：【自己都合】証券アナリストの勉強を再度チャレンジするためです。何とかインベストメントでのキャリアを築いて行きたいと考えておりました。2013年迄はアカウントING業務をやりつつも、当時は証券アナリストの取得を目指していました。(1次試験は通過、2次試験で落選しました。)

2011年10月～2012年3月 ●●法律事務所

事務局長・戦略法務調査役/部下10名をマネジメント

法律事務所のマネジメントに従事

1) マネジメント

- ・10名の財務会計経理、総務スタッフ、法律事務スタッフのマネジメント

2) 一連の人事業務に従事

3) 営業活動

- ・提携先の韓国の法務法人と協力したアジア展開営業ビジネス

※退職理由：【自己都合】証券アナリストの勉強をするためです。当時は、直近の資産運用でのキャリアを築いて行きたいと考えておりました。

1999年4月～2011年6月 ●●保険会社

2008年12月 AIU 保険会社/資産運用部 投融資課/ポートフォリオマネージャー/3名をマネジメント

～ 有価証券(計1200億円)のポートフォリオマネジメントに従事

2011年6月 1) ポートフォリオマネジメント

- ・約1200億円の債券、株式、ファンドの資産運用により、年間18億円のインカムゲインに貢献
- ・運用リスクを考慮したALMに基づいたポートフォリオの構築
- ・運用予算の作成、その予実管理/差異分析/売買収支管理業務
- ・国債、外債、株式、投信、為替に関わる日英のマーケットコメントの作成

2) アカウントING&レポート

- ・財務会計、FP&A、管理会計、有価証券の会計業務および区分経理業務の実施、税務
- ・アニュアルレポートの作成、ソルベンシーマージンの算出

3) キャッシュマネジメント

- ・カストディアアカウントおよび本社口座の短期の資金繰り、口座管理、キャッシュフロー分析

2007年8月 ●●保険会社/資産運用本部 財務企画部 財務企画グループ/アシスタントマネージャ

～ /3名をマネジメント

2008年11月 有価証券(債券、株式、ファンド)・ローン・不動産(計2兆5千億円)のポートフォリオマネジメント

- 規模：50名のプロジェクトメンバー
- 役割：エジソン生命代表としてグループ会社の統合プロジェクトに参画
- プロジェクトへの関わり：End to End

1) プロジェクトへの参画

- ・AIG スター生命との統合プロジェクトに参画し、業務プロセスの比較整理および統合後の業務プロセスの立案策定、会社の代表としてアジャイルにシステム統合の計画策定及びプロジェクトマネジメント、UATの策定及び実施

2) プランニング&分析

- ・運用リスクを考慮した ALM に基づいたポートフォリオの構築、1500 億円の利益に寄与
- ・運用予算の作成、その予実管理／差異分析／売買収支管理業務を果たしマネジメント層への報告
- ・様々なストレステストの実施

3) 会計&レポーティング

- ・財務会計、FP&A とストラテジー、管理会計分析およびマネジメント層への報告
- ・ソルベンシーマージンの算出
- ・金融庁、日本銀行、生命保険協会、格付会社、カウンターパーティー、アメリカ親会社へのレポーティング

4) キャッシュマネジメント

- ・カストディアアカウントおよび本社口座の短期の資金繰り、キャッシュフロー分析

2003 年 9 月 ●●保険会社／資産運用本部 財務企画部 有価証券業務 G／アシスタントマネージャー
～ /2～3 名をマネジメント

2007 年 8 月 有価証券およびデリバティブにかかる日本会計および USGAAP の業務に従事（区分経理も含む）
（GE から
AIG へ株主
変更）
-規模：クロスファンクショナルな 30 名のメンバー
-役割：エジソン生命代表として新しい有価証券システムの導入プロジェクトに参画
-プロジェクトへの関わり：End to End

有価証券およびデリバティブにかかる日本会計および USGAAP の業務に従事（区分経理も含む）

1) プロジェクトへの参画

- ・エジソン生命代表のプロジェクトマネージャーとして AIG グループにおける有価証券会計処理プロセス・システムの統合プロジェクトへの参画、UAT の策定及び実施、アジャイルに新しい有価証券管理システム（PAM）の導入プロジェクトの成功
- ・SOX 導入プロジェクトでコンサルティング会社と協同し、導入に成功し、内部統制業務を遂行した
- ・外貨保険の新商品開発プロジェクトに伴う会計要件設定・定義

2) アカウンティング

- ・プロセスマップを用いた業務マニュアルの整備及びツールの開発による業務グランドデザイン化に成功
- ・財務会計、FP&A とストラテジー、管理会計、伝票起票、仕訳、決算および勘定照合、税務
- ・パーチェス法を用いた有価証券全 3,000 銘柄に関わる期首残高をはじめとしたデータ作成

2) レポーティング

- ・決算報告書やキャッシュフロー計算書、アニュアルレポートの作成、親会社への連結パッケージの作成指示およびマネジメント
- ・ソルベンシーマージンの算出

2002 年 5 月 ●●保険会社／経理部 本社経理グループ／アカウント／課長以下 6 名
～ 本社経理業務に従事

2003 年 9 月
-規模：40 名の Oracle 導入プロジェクトメンバー
-役割：Oracle のシステム導入時に経理部門代表としてプロジェクトに参画
-プロジェクトへの関わり：End to End
-規模：シックスシグマ推進プロジェクトでクロスファンクショナルな 30 名のメンバー
-役割：シックスシグマプロジェクト推進およびプロジェクトマネジメント
-プロジェクトへの関わり：End to End

1) プロジェクトへの参画

- ・経理部門代表として Oracle システムの導入に成功
- ・シックスシグマ方法論を用いた勘定照合のシステム化プロジェクトのプロジェクトリーダーを果たし、エクセル作業を完全に排除し、Web 化に導いた

2) アカウンティング

- ・財務会計、FP&A とストラテジー、管理会計、連結会計、伝票起票、仕訳、決算と勘定照合、税務
- ・会計処理マニュアルの改訂、整備、要件定義を行い、会計プロセスを改善し加速させた

3) レポーティング

- ・財務諸表の作成、分析結果等をマネジメント層へ報告、アニュアルレポートの作成
- ・ソルベンシーマージンの算出

2002 年 2 月 ●●保険会社／経理部 インベストメントアカウンティング／アカウント（不動産担当）
～ 課長以下 5 名

2002 年 5 月 不動産にかかる日本会計および USGAAP の業務に従事
財務会計、FP&A、管理会計、伝票起票、仕訳、コンピュータ入力から決算処理および勘定照合、税務、アニュアルレポートの作成

2001 年 4 月 ●●保険会社／法人代理店ビジネス ソリューションディベロップメント部
～ プロセスディベロップメント／スペシャリスト／課長以下 4 名

2002 年 2 月
-規模：クロスファンクショナルな 25 名のメンバー
-役割：シックスシグマプロジェクト推進およびプロジェクトマネジメント
-プロジェクトへの関わり：End to End

シックスシグマ方法論を用いた営業関連業務の効率化およびコスト削減

- ・24名をまとめるプロジェクトリーダーとして、コスト削減に結びつくグローバルなプロジェクトで必要なステークホルダーを巻き込み年間45百万円のコスト削減に成功
- ・保険加入時の血液検査の新規早期サイクルの開発に成功

※退職理由：【会社都合】リーマンショックの影響による人員削減があったためです。

■表彰等

- 2008年6月 スポットアワード（資産運用のプランニングとレポート業務における評価）
- 2006年6月 サービスアワード（有価証券の日本会計／USGAAP業務における評価）
- 2002年6月 スポットアワード（シックスシグマ方法論を用いた勘定照合Webシステム導入プロジェクト）
- 2001年12月 シックスシグマ Day プレゼンター（プロジェクト表彰者によるプレゼンテーション）